

【（公財）東京防災救急協会】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

「都民生活の安全と安心を守る」消防のパートナー

重要課題 ①

東京特有の都市構造・地理的特性の下、災害が大規模化・複雑多様化する中で、増大する消防行政需要に対し、団体として対応力強化をどのように図っていくか

検討の状況や今後の方向性

東京消防庁とともに消防行政サービスの維持向上を目指し、消防行政需要への対応を行っている。

【人材確保・育成策の検討・強化】

○ 消防の現場経験及び知識を有する消防の専門性の高い職員として、東京消防庁OB職員を採用し、各種事業を実施している。今後は、同じく消防の専門性の高い他の消防本部OB職員なども雇用ターゲットとし、幅広く関係機関からの採用に取り組む。また、職員育成計画に基づき、職員の能力強化を図るとともに、多様な能力を持った人材確保に向けて幅広く公募するなど、多様な採用について検討していく。

【受託事業増大に関する施策の提案】

○ 消防行政需要の増大に伴い、受託事業の増大等が予想されることから、実現に向けた業務執行体制の検討を進めるとともに、これまでの事業実績に基づく提案をしていく。

○ 東京消防庁に設置された「公益財団法人東京防災救急協会の今後の活用のあり方検討委員会」に参画し、現場の視点や実績データなどを活用し、効率化、高度化等、事業内容の見直しやブラッシュアップを提案し、各種受託事業のグレードアップを図っていく。

【（公財）東京防災救急協会】の課題と今後の方向性

重要課題
②

東京2020大会の成功に向けた行動力あるバイスタンダーの育成

検討の状況や今後の方向性

【大会組織委員会職員に対する救命講習】

○東京2020大会の成功に向けて、昨年度から、大会組織委員会職員に対し普通救命講習を実施し、バイスタンダーの育成を図っている。

○今後も東京消防庁と連携した柔軟な対応により、バイスタンダーの育成に努める。

【フィールドキャスト及びシティキャストに対する救命講習】

○都民の救急に関する行動力の向上及び大会の成功のため、フィールドキャスト及びシティキャストを対象とした救命講習を実施する必要があると考えている。

○現時点で具体的な規模やスケジュールについては未定であるが、より多くのバイスタンダーの育成に向けて東京消防庁と連携するとともに、大会に向けて関係機関等に対し、バイスタンダー育成の協力を働きかけていく。